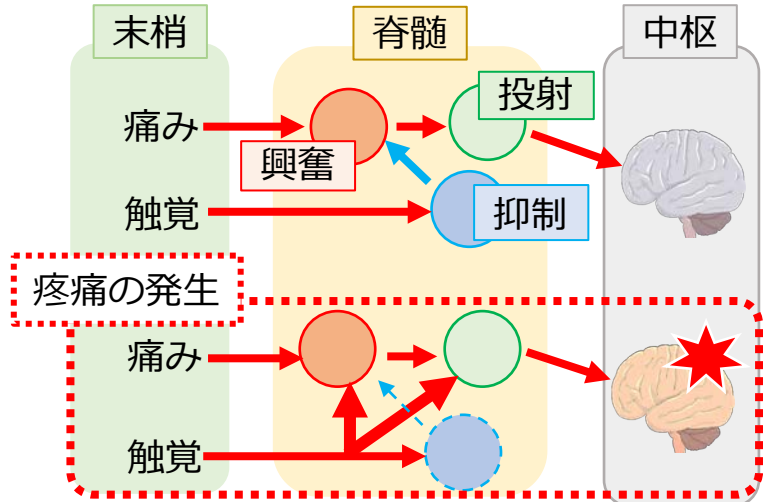


体性感覚神経系チップの開発と疼痛制御法への応用

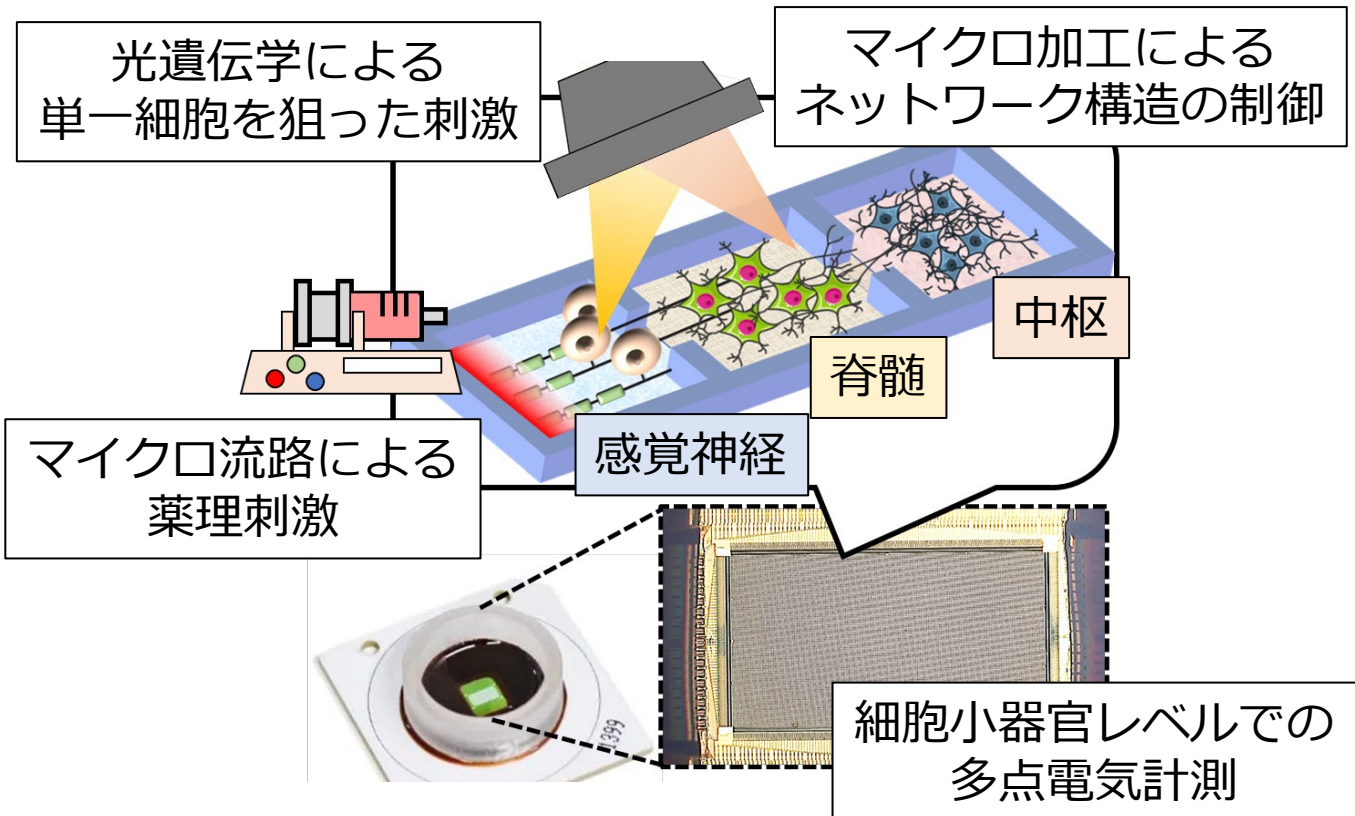
研究代表者 榛葉 健太 (東京大学 大学院工学系研究科 助教)

研究の背景

末梢の感覚神経から脊髄への投射様式や、脊髄内でのネットワーク構造の変化により疼痛が発生する。痛みを理解するには、組織間の作用を詳細に評価することが有効である。



開発する体性感覚神経系チップの概要



マイクロデバイスにより生体が持つ結合の特性を再現
光・薬理刺激と精密電気計測を組み合わせ疼痛の発生を計測